Milestone Systems

XProtect® Smart Client 2020 R3におけるビデオエビデンスの検 索およびエクスポート

クイックガイド



はじめに

インシデントが発生した後、ビデオを調査して何がいつ起きたのか特定することが重要です。録画されたビデオが何時間にも 及ぶ場合、インシデントの特定の瞬間を探す作業には長い時間がかかります。ただし、XProtect Smart Clientの検索・調査 ツールを使用すれば、この過程を加速させ、適切なビデオをすばやく正確に検出してエクスポートできます。

本書では録画されたビデオを調査・検索してインシデントを検出し、これをエクスポートする方法について説明します。

はじめに

XProtect Smart Clientには以下の2種類のモードがあります:

- 簡易モード:
- 詳細モード:

本 クイックガイドに記載されているタスクを実行するには、詳細モードに入る必要があります。モードを切り替えるには簡易モード・詳細モードの切替をクリックします。



録画内容の調査

どのカメラがインシデントを記録したのか判明している場合は、再]タブに直接移動して、いつ何が起こったのか調査できます。



録画内容を調査するには:

- 1. 確認したいカメラが含まれるビューを開きます①。
- 2. 以下のいずれかのツールを使用します:
 - ドラッグしてビデオ録画を参照できるタイムライン2。
 - ●移動機能:特定の時点を入力できます●。
 - 検索機能:特定のカメチャ、またはビュー内の全カメチャの検索ウィンドウが開きます。
- 3. 表示したい時間帯を調整するには、時間帯スライダーを左右にドラッグします。範囲は5分~4週間です。

タイムライン

タイムラインには、現在のビューで表示されているすべてのカメラの記録期間の概要が表示されます。タイムラインエリアには、 2本のタイムラインが表示されます:

- 上のタイムラインには、選択したカメラの録画期間が示されます。
- 下のタイムラインには、ビューにあるすべてのカメラが示されます(選択したカメラを含む)。



タイムラインの色分け

- 明るい赤は記録を表します
- 赤はモーションを表します
- 明るい緑は受信音声を表します
- 緑は送信音声を表します

検索

検索タブでは複数のカメラで詳細検索を実行すると、インシデントを検索/調査できます。これはとりわけ以下の場合に有効です:

- システム内に多数のカメラがあり、どのカメラによってインシデントが記録されたかが定かでない
- 特定の時間帯のビデオシーケンスをすべて検索したい(カメラによる録画が頻繁でない場合など)
- モーションのあるビデオシーケンスを検索したい(パッケージが棚から取り除かれた瞬間を特定したい場合など)
- ブックマークを付けたインシデントを調査または再視聴したい
- アラームに関連付けられたビデオシーケンスを検索したい(特定のオペレーターに割り当てられた特定の状態のアラームなど)
- イベントに関連付けられたビデオシーケンスを検索したい(特定のソースまたはサーバーから取得したイベントなど)
- 人物が映っているビデオシーケンスを検索したい(特定の年齢または身長の人物など)
- 特定の車両(特定のナンバープレートが付いたトラックなど)が映っているビデオシーケンスを検索したい場合。車両の検索は、システムにXProtect® LPRがインストールされている場合でも可能です。
- 特定の場所で記録されたビデオシーケンスを検索したい

検索の実行

検索ワークスペースは検索タブで使用できます。検索を設定して実行するには、次の手順に従ってください。



- 1.時間帯を選択するか、独自のカスタム間隔を定義します①。
- 2. 検索機能を使用するか、ツリー構造内のカメラを選択してカメラを追加します?



- 3. 検索 カテゴリを選択します 3.
- 4. フィルターを適用して検索結果を絞ります
- 5. 検索結果のビデオのプレビューを表示するには、検索結果を選択しの、プレビューエリアにある順方向再生をクリック します 6. 検索結果を全画面モードで表示するには、検索結果をダブルクリックします。
- 6. 検索結果に対してアクション(ビデオのエクスポートやブックマーク付けなど)を実行できるようにするには、検索結果に カーソルを当てて、表示される青いチェックボックスを選択します?。青いアクションバーが表示されます?。

境界ボックス

黄色い境界ボックスを使用すると、オブジェクトまたはモーションを識別しやすくなります。オン/オフを切り替えるには、境界ボックスリストで表示または非表示を選択します。

Hide	-	Newest event time
Show		
Hide		



「私は化粧品店で店長として務めています。品物が盗まれたことを証明し、また盗んだ人物を特定したいと考えています。」

この例では、品物が盗まれたエリアで検出されたモーションのみを検索します。インシデントは7月16日の11:40~12:00の間 に発生しました。

1. 時間帯の設定時にカスタム間隔を選択します。日付/時刻ピッカーが表示されます。



- 2. 日付2を選択し、開始時間と終了時間3を入力して、設定4をクリックします。
- 3. カメラのリストを開き、品物が盗まれた棚を監視しているカメラを選択します



4. 検索対象 6 をクリックし、モーション を選択します。



5. 新規検索 8 をクリックします。この時点で、検索によって1件の結果が返されます9。



6. モーションの検索場所を指定します 10.



7. 表示されるウィンドウでクリック&ドラッグ操作を行い、品物が盗まれたエリアのマスクを解除します . 追加の検索結果が表示されます。ウィンドウ外の任意の場所をクリックして閉じます。



- 8. サムネイル内の黄色い境界ボックスを使用すると、エビデンスとして使用できる検索結果を識別しやすくなります2.
- 9. ビデオのプレビューを表示するには、検索結果を選択して順方向再生¹³をクリックするか、検索結果をダブルクリック してフルスクリーンで表示します。
- 10. ビデオをエクスポートする方法については、ページ12のビデオのエクスポートを参照してください。

ビデオのエクスポート

ビデオエビデンスの場所を特定すれば、これをエクスポートできます。最初の図は、再生タブにあるビデオをエクスポートする方法を示しています。2番目の図は、検索タブでエクスポートを実行する方法について示しています。

再生タブでエクスポートを開始



- 1. クリックして時間選択モードをオンにします①。
- 2. エクスポートに含めたいカメラを選択します2.
- 3. 角括弧をドラッグして、エクスポートの開始/終了時刻を選択します3.
- 4. エクスポート>エクスポートの順にクリックして、エクスポートウィンドウを開きます

検索タブでエクスポートを開始



- 1. エクスポートしたい検索結果にカーソルを当てて、表示される青いチェックボックスを選択します
 .
- 2. アクションバーでエクスポートアイコンを選択します 2.

エクスポート設定の指定

Export		- 🗆 ×
Export name: 3		
Suspect entering		
ltem	Start time End time	10-07-2019 08:23:49.928
Headquarter entrance - outside	08:23:03 08:24:34	
Headquarter entrance - outside	08:24:01 08:24:11	
<u> </u>		the second se
Add item	6 Remove All	
Export Destination	08:20	49.928
No media burners detected	Privacy mask	7
	6	
Choose the export format		
☑ XProtect format		^
☑ Include XProtect Smart Client - Player	Include the XProtect Smart Client - Player in a 64-bit version to let your	recipients view the exported
Prevent re-export	video. This is relevant if the recipients do not have XProtect Smart Clien	t installed.
Password protect I28-bit AES	Recipients that are using a 32-bit Windows computer need to downloa XProtect Smart Client - Player to view exported video. See the help for	d a 32-bit version of the more information.
Comments		
Media player format		~
Still images		~
		8
Help Start time: 08:23:03 E	Juration: 0:03:39	Start Export Cancel

- 1. エクスポートファイルの名前を入力します3.
- 2. 必要に応じてカメラを追加します④。
- 3. エクスポート先を指定します5.
- 4. エクスポートの形式を選択します6.
- 5. 開始/終了時刻を調整するには角括弧を使用します 2.
- 6. エクスポートの開始をクリックして、エクスポートを開始します 3.

エクスポート設定の詳細については、ページ14のエクスポート設定を参照してください。

エクスポートにアクセスするには、エクスポートが完了した際に右上の詳細をクリックします:

Completed Details X

エクスポート設定

設定	説明
XProtect	複数のカメラからビデオを同時にエクスポートします(デジタルズーム機能を併用)。 このオプションには以下が必要です: ・ XProtect Smart Client - Playerを使用してビデオを表示する必要があります。これはエクスポートに 含まれており、設定は不要です。 ・ ビデオを視聴するコンピュータでWindowsオペレーティングシステムを実行する必要があります。
メディア プ レー ヤー	複数のカメラからビデオを個別のビデオ クリップとしてエクスポートします。これらのクリップは標準のメディアプレーヤーで視聴できます。例として、Windows Media Playerが挙げられます。
静 止 画 像	静止画像をエクスポートします。
プライバ シー マス ク	画像内のエリアにプライバシーマスクを加えることで、ビデオコンテンツのエリアを非表示にできます。たとえば、 プライバシーマスクは機密コンテンツを視聴者に見せたくない場合に便利です。
コメント	重要な指示やガイドラインは、エクスポートファイルにコメントを追加すると表示できます。

Milestoneについて

Milestone Systemsはオープンプラットフォームの監視カメラ管理ソ フトウェア(Video Management Software: VMS)の世界有数のプロ バイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネ ス効率の向上に役立つテクノロジーを提供します。Milestone Systemsは、世界中の15万以上のサイトで実証された高い信頼 性と拡張性を持つMilestoneのソリューションにより、ネットワークビ デオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを 促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成しています。 Milestone Systemsは、1998年創業、Canon Group傘下の独立 企業です。詳しくは、https://www.milestonesys.com/をご覧ください。